

富山県フロラに追加される植物?

著者	石須 秀知
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	23
ページ	175
発行年	2000-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=735

短 報

富山県フロラに追加される植物 II

New Records for Flora of Toyama II

石須 秀知

Hidetomo Ishizu

魚津埋没林博物館

〒937-0067 富山県魚津市釈迦堂814

富山県のフロラに1種を追加し、1種を削除する。標本はすべて筆者が採集・同定し、富山市科学文化センターに収蔵されている。

標本の同定を確認し、過去のデータ等についてご教示をいただいた富山市科学文化センター太田道人氏に厚くお礼申し上げます。

イトトリゲモ (イバラモ科)

Najas japonica Nakai

・富山県砺波市頼成の森 水生植物園 標高100m

1999年9月6日 石須秀知採集

標本番号 TOYA-Sp-60490

・富山県小矢部市鷺島 クロスランドおやべの池

1994年11月26日 太田道人採集

標本番号 TOYA-Sp-52669

県民公園頼成の森の水生植物園内の池に、同属のホッスモとともに群生していた。公園内ではあるが、周辺の状況から見て自生品と思われる。混生していたホッスモとは、葉幅、葉鞘の形態、果実の付き方、種子表面の模様などで識別される。

イトトリゲモは、環境庁発表のレッドリストでは絶滅危惧 I B類に含まれている。今回採集した池ではホッスモと混生しながら旺盛に繁茂しており、生育状態は良好である。また、池の下流にあるハナショウブ園にも点々と小さなコロニーが見られる。

今回採集したものがホッスモと混生していたため、科学文化センターに収蔵されていた他のホッスモの標本を調査したところ、小矢部市産の標本(1994年11月26日太田道人採集)にも混入していたので記録に加える。他のホッスモおよび同属の類似植物が記録されている産地でも、混生していながら認識されていない可能性がある。

訂 正

前報(石須, 1999)で同定上の疑問点とともにコナミキを報告したが、精査した結果、当該植物はヤマジノタツナミソウの花が小型・白色の不完全なものと判断された。ここに訂正し、コナミキを削除する。

前報の元となった標本は1998年9月に採集したもので、本来の開花期を外れて花が正常に発達しなかったものと考えられる。1999年の5月から9月にかけて毎月採集地で追跡観察したところ、いずれの時期にも正常な大きさの紫色の花が確認された。開花数は5, 6月に多く、7, 8月に少なかった。9月はやや多くの花が見られたが、花のつく節間がやや離れ、5, 6月のような密集した花穂にならず、正常な花と小型白色の花の両方が観察された。小型白色の花は日陰に多い傾向があった。

正常な花の形態、茎の毛などの特徴により、この植物はヤマジノタツナミソウに当たると判断された。小型白色花が単に未熟な花なのかどうかは、今回の観察だけでははっきりしない。

なお、ヤマジノタツナミソウは富山県植物誌(大田他, 1983)には記載がないが、進野久五郎植物コレクション(太田, 1987)に県内3カ所の標本が収録されている。

参考文献

石須秀知, 1999. 富山県フロラに追加される植物. 富山市科学文化センター研究報告22: p.151-152.

大田 弘・小路登一・長井真隆, 1983. 富山県植物誌. 広文堂. 富山.

太田道人, 1987. 進野久五郎植物コレクション. 富山市科学文化センター収蔵資料目録 1.